

2022(令和4)年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

I. 2022(令和4)年度事業活動の概要

① 授賞式

2022(令和4)年度(第11期)事業年度は、令和3年4月の授賞者発表(HP上)に続き、第10回授賞式をフランス大使館公邸にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続きやむなく中止としました。

② 論文募集告知活動

財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部、大学医学部呼吸器科等、がんセンター、がんセンター呼吸器他、がん拠点病院、疫学他の合計約1,000カ所に送付しました。

③ 論文応募状況及び審査過程

7月～9月の募集期間を経て、10月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3月下旬に第9回受賞者を決定しました。2022(令和4)年度の実応募総数は19篇となりました。

※過去の論文応募状況：2012年16篇、2013年8篇、2014年18篇、2015年25篇、2016年16篇、2017年19篇、2018年23篇、2019年25篇、2020年35篇、2021年27篇

II. 第11回(2022(令和4)年度)ポールブルダリ科学賞並びに同特別賞受賞者

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」

佐治 久 Hisashi SAJI (MD., Ph.D.)

聖マリアンナ医科大学 呼吸器外科 主任教授・呼吸器センター副センター長

【該当論文】

肺野末梢小型非小細胞肺癌に対する肺葉切除と区域切除の比較試験

(JCOG0802/WJOG4607L) 多施設共同、非盲検、第3相、ランダム化、コントロール、非劣性試験

Segmentectomy versus lobectomy in small-sized peripheral non-small-cell lung cancer (JCOG0802/WJOG4607L): a multicentre, open-label, phase 3, randomised, controlled, non-inferiority trial
(Lancet. 2022 Apr 23;399(10335):1607-1617.)

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞 特別賞」

一瀬大志 Hiroshi ICHISE (Ph.D.)

米国立アレルギー・感染症研究所 客員研究員

【該当論文】

ナチュラルキラー細胞による転移性単一腫瘍細胞殺傷機構の機能的可視化
Functional visualization of NK cell-mediated killing of metastatic
single tumor cells (eLife, 2022; 11, e76269 (1-28))

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞 特別賞」

小林祥久 Yoshihisa KOBAYASHI (MD., Ph.D.)

国立がん研究センター研究所 分子病理分野 研究員

【該当論文】

サイレント変異による RAS Q61 変異がんの治療標的となる脆弱性の発見
Silent mutations reveal therapeutic vulnerability in RAS Q61 cancers.
(Nature 2022; 603(7900):335-342.)

Ⅲ. 理事会・評議員会の開催状況

第 44 回 定時理事会 2022(令和 4) 年 5 月 31 日(火)

決議事項 (1)2021 (令和 3) 年度事業報告及び決算書承認の件
(2)第 22 回定時評議員会開催承認の件

第 22 回 定時評議員会 2022(令和 4)年 6 月 21 日 (火)

決議事項 (1)2021(令和 3)年度事業報告及び決算書承認の件
(2)任期満了に伴う理事選任の件
(3)任期満了に伴う諮問委員選任の件

第 45 回 臨時理事会 2022(令和 4)年 6 月 25 日 (土) (みなし決議)

決議事項 (1)代表理事選任の件

第 46 回 定時理事会 2023(令和 5)年 3 月 14 日 (火)

決議事項 (1)2023 (令和 5) 年度事業計画書及び収支予算書承認の件
(2)2022 (令和 4) 年度科学賞最終選考結果 (授賞対象者及び金額) 承認の件

以上

2022(令和4)年度 事業報告 附属明細書

2022（令和4）年度事業報告の附属明細書は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会